

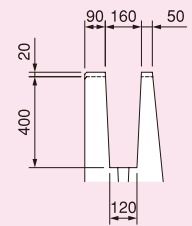
FUJI COLLECTION
[道路用シリーズ]
ガードレール基礎

Gr・L型擁壁 (H=500・800)

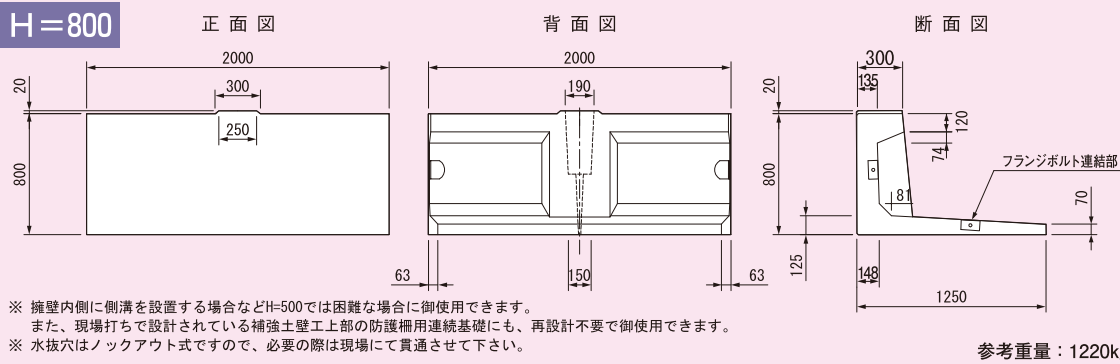
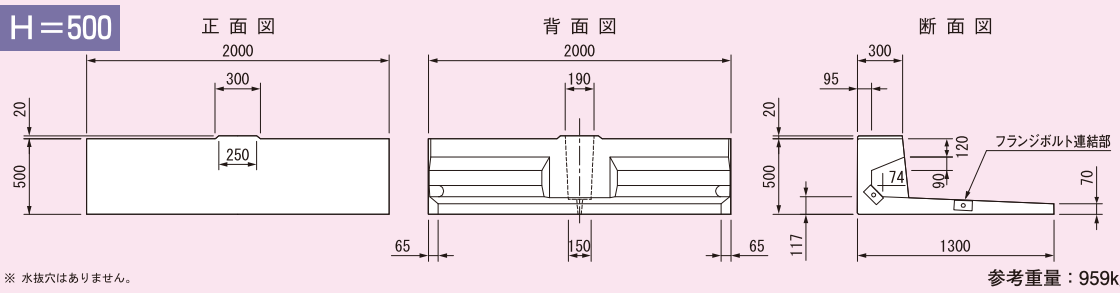
実績



支柱孔 詳細図



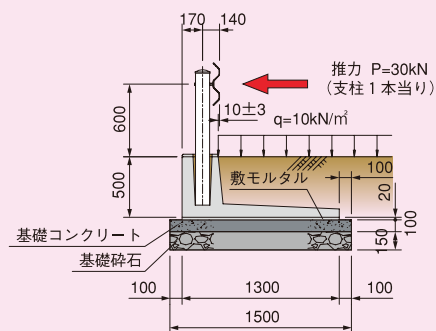
寸法図



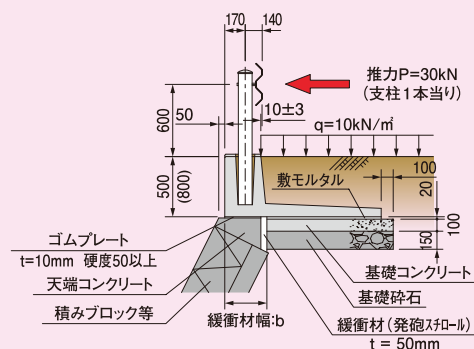
※H=1000以上の規格は、擁壁シリーズのP120をご参照下さい。

標準
構造図

直接基礎の場合

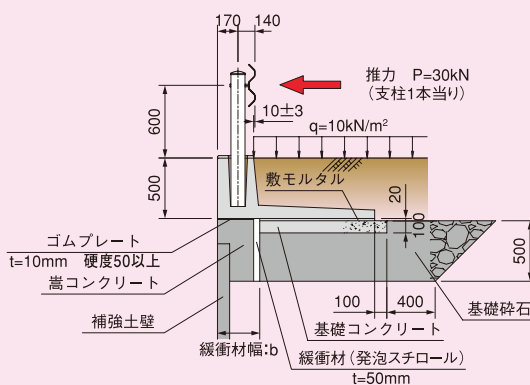


ブロック積み上部設置の場合

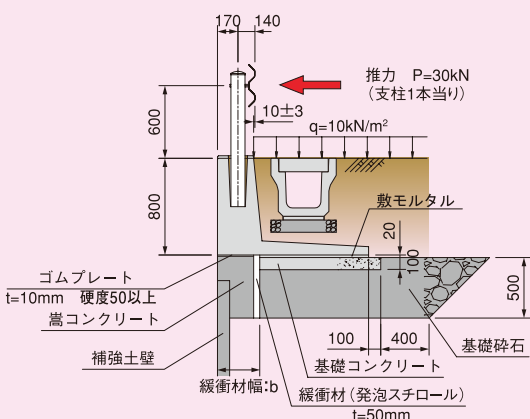


補強土壁上部設置の場合

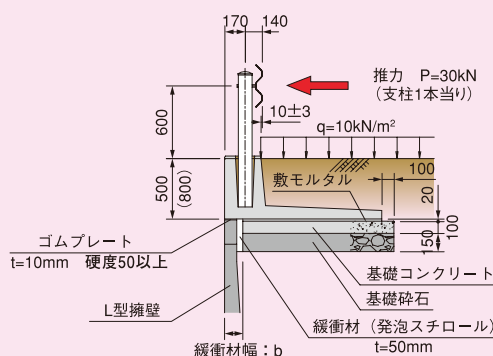
※ H=500の場合



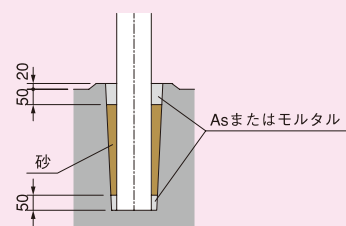
※ H=800の場合



L型擁壁上部設置の場合



支柱設置方法



必要連結本数 (H=500・800共通)

名称	直接基礎	他の擁壁上使用				
		緩衝材幅:b (mm)				
		150	200	250	300	350
H=500	4本	4本	4本	5本	5本	6本
H=800	4本	3本	4本	4本	5本	5本

※直接基礎の場合の基礎数量は、擁壁シリーズのP120をご参照下さい。

Gr・L型擁壁

(10m当り)

名称	数量 (個)	一般土木世話 (人)	ブロック工 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ・クレーン機能付2.9t吊 (日)	諸雑費 (%)	雑工種率 (%)	
							基礎砕石	均しコンクリート
H=500	5.00	0.22	0.22	0.67	0.22	16.00	45.00	74.00
H=800								

諸雑費は、敷モルタル・目地モルタル・排水材の費用であり、労務費とバックホウの合計に乗じた金額を計上する。

雑工種率は、直接基礎の場合のみ採用する。

「工事歩掛要覧」より

参考
歩掛表